

**緑のまちづくりにおける壁面緑化のあり方に関する研究**  
**—(その5)東京都港区における壁面緑化の認知度と景観評価に着目して—**  
**The Ideal Way the Urban Wall Greening to Green Town Planning**  
**—(Part5) Focus on landscape assessment and awareness of wall greening in Minato city, Tokyo—**

○鳥居奨次郎<sup>1</sup>, 押田佳子<sup>2</sup>, 宮本はるこ<sup>1</sup>

\*Shoujirou Torii<sup>1</sup>, Keiko Oshida<sup>2</sup>, Haruko Miyamoto<sup>1</sup>

Abstract: We investigated landscape assessment and awareness of wall greening in Minato city, Tokyo. In conclusion, it is clarified that green amount and spatial design suitable for office are required in target area.

1. 背景及び目的—港区は日本のビジネス中心地として栄え、多くのオフィスビルが立ち並び、観光名所や高級住宅街が多く存在することから多様な人々が集まる魅力溢れるまちである。その魅力溢れるまちづくりに関わり、景観を向上させる要素として壁面緑化をはじめとする、取り組みが挙げられる。2004(平成16)年に区内緑化の一層の推進を図る目的として、「港区みどりの街づくり賞」が創設され、2009(平成21)年に策定された港区景観計画に基づき、2011(平成23)年からは良好な景観に対する意識の向上を図るため「景観まちづくり賞」を制定するなど、他の区に先立って壁面緑化を含む景観形成のための緑化を重要視した魅力あふれるまちづくりを行っている<sup>[1]</sup>。先行研究<sup>[2]~[4]</sup>では歩行者や施設利用者による、壁面緑化を含む景観への認知が高いことが窺えたが、どのように評価されているかについては言及されていない。そこで本研究では、街行く人々にとって壁面緑化がどの程度認識され、また評価されているのかを明らかにし、今後の壁面緑化のあり方を考察することを目的とする。

2. 研究方法—本研究の調査概要を Table1 に示す。

本研究における緑化賞は港区内のオフィス空間における景観と壁面緑化との関わりを明らかにするため、建築物と緑化のバランスを評価の選定基準としている「港区みどりの街づくり賞」「港区景観まちづくり賞」に着目した<sup>[1]</sup>。調査対象地は、事前調査において港区内で壁面緑化接道率が高くみられた新橋エリア、港南エリア、青山エリアを選定した。

Table1 Outline of the survey (調査概要) (This is original table by authors)

調査期間	2018年5月17日~2018年8月31日		
調査方法	現地調査・ヒアリング調査(304名)		
対象地	新橋エリア	港南エリア	青山エリア
	東新橋1~2丁目 新橋1~6丁目 西新橋1~4丁目	港南1~5丁目	北青山3丁目 南青山3~5丁目 神宮前5丁目
ヒアリング対象	東京都港区緑化賞受賞作品 周辺利用者		
対象人数	100名	100名	104名
ヒアリング内容	Q1/壁面緑化を知っている Q2/街の中に壁面緑化は必要だと思う Q3/壁面緑化を見たことがある Q4/見たことのある壁面緑化または知っている壁面緑化 Q5/どんなデザインの壁面緑化があったら良いと思うか		

3. 結果及び考察—Table2 に壁面緑化認知度, Table3 にエリア別壁面緑化認知度を示す。以下、これに基づき考察を述べる。

3-1. 壁面緑化の認知度—Table2 より、全3エリアの傾向を見ると、「Q1/壁面緑化を知っている(以下, Q1)」が62%、「Q2/街の中に壁面緑化は必要だと思う(以下, Q2)」が85%、「Q3/壁面緑化を見たことがある(以下, Q3)」が83%、という回答が得られた。さらに、年齢層別に見ると30~40代、50~60代における認知度が高く、都心で働く世代からの認知度及び必要度は高いといえる。しかしながら、Table3 よりエリア別の認知度を見ると全エリアにおいて、Q2, Q3、ともに「はい」と答えたのは80%以上であったにも関わらず、壁面緑化の認知は、新橋エリア65%、港南エリア65%、青山エリア57%であり、壁面緑化の実態を知っているが、用語としての認知には至っていないことが示された。

3-2. 壁面緑化のデザイン評価—Figure1 に3エリアにおける壁面緑化の分布, Figure2 に各エリアのデザイン要望を示す。以下、これに基づき考察する。

(1) 新橋エリア—Figure1 より、新橋エリアの壁面緑化は全10件、そのうち緑化賞受賞作品は2件であった。他の2エリアに比べて、既存建築物には登はん型壁面緑化が多く、新しい建築物にはパネル型壁面緑化やコンテナ型壁面緑化などデザインや景観を意識した壁面緑化が施されていた。ヒアリング調査においては、景観の調和よりも緑量が多いものが高い評価を得る傾向が見られた。Figure2 より、デザイン要望に着目すると、緑量の多さを求めるものが圧倒的に多く、これはデザインや景観よりもヒートアイランド・地球温暖化防止などの環境面・機能性を重要視しているためといえる。今後は企業PRや広告としての壁面緑化利用や地域のシンボルとなる壁面緑化も必要と意欲的な意見が得ら

れたことから需要が高いことが窺えた。

(2)港南エリア—Figure1より、港南エリアの壁面緑化は全8件、そのうち緑化賞受賞作品は3件となっている。ここ5年以内に緑化賞を受賞している壁面緑化作品は壁面緑化単体ではなく、照明や水路・街路樹など多くの要素と併用することで、建物と一体化した総合的な緑地整備をしている。Figure2より、デザイン要望を見ると、3エリアの中でも多くのオフィスビルが立ち並ぶ港南エリアでは、緑量の多さと整然としたデザイン性の両面が求められているといえる。

(3)青山エリア—Figure1より、青山エリアは壁面緑化6件、そのうち緑化賞受賞作品は4件と半数を超えている。壁面緑化の作品数自体は少ないが、大規模再開発によって南青山サンタキアラ協会や表参道ヒルズなどの大規模な壁面緑化を施したものが多く、地域の景観を形づくる施設が多い特徴があるといえる。

Figure2より、青山エリアでは建物とのバランスや街並みとの調和を重要視したものが求められており、大規模建築物と一体化した機能美を併せもつ緑化が好まれることが窺えた。

4. まとめ—3エリアとも壁面緑化の認知度と必要度は高く、港区内のオフィス空間での壁面緑化という用語の認知は低いものの、壁面緑化は景観の一部に溶け込んでいる緑のまちづくりツールとして多くの人から認識されていることがわかった。全エリアで共通して緑量が求められるが、エリアごとでは、新橋は環境面における効果が認知・期待され、機能面を重視しているのに対し、港南、青山では、街や建物とのバランスなど、景観との調和やデザイン性が重視され、エリアごとで壁面緑化に関する認識や景観評価に違いがみられた。今後も壁面緑化は、都心における再開発等が進む中で、さらなる増加が見込まれ、オフィス空間に適した緑量や整然としたデザインで存在感のある緑化設計を施すことで多くの人目に留まる緑のまちづくりが展開されるであろう。

5. 参考文献

[1]港区 東京都港区公式 HPhttps://www.city.minato.tokyo.jp/ryokukasuishin/kan-kyo-machi/kankyo/ryokuka/kekaku/machidukurishou.html, [2]松下依里香ほか4名,「壁面緑化にみる緑の連続性に関する研究—(その1)東京都23区における壁面緑化の位置づけと神田駿河台地区における現状の把握—」,第59回理工学部学術講演会,pp.397~398,2015.12.5 [3]柴田藍理ほか4名,「壁面緑化にみる緑の連続性に関する研究—(その2)東京都23区内の緑化に関する受賞作品に着目して—」,pp.399~400,第59回理工学部学術講演会,2015.12.5 [4]柴田藍理ほか4名,「緑のまちづくりにおける壁面緑化のあり方に関する研究—歩行者視点より捉えた緑の連続性の評価—」,2016年度日本建築学会大会,2016.8.25

Table2 Recognition of the wall greening (壁面緑化認知度)

	年齢層	Q2/街の中に壁面緑化を必要だと思う			Q3/壁面緑化を見たことがある		合計	
		はい	いいえ	どちらでもない	はい	いいえ		
Q1/壁面緑化を知っている	はい	20代以下	20%	-	1%	18%	2%	21%
		30~40代	19%	1%	1%	18%	3%	21%
		50~60代	15%	1%	1%	16%	2%	17%
		70代以上	3%	-	0%	3%	0%	3%
	合計		57%	2%	4%	55%	7%	62%
	いいえ	20代以下	11%	1%	3%	11%	3%	14%
		30~40代	11%	1%	3%	12%	3%	15%
		50~60代	5%	1%	2%	4%	3%	7%
70代以上		1%	-	0%	-	1%	1%	
合計		28%	2%	8%	27%	11%	38%	
合計		85%	4%	11%	83%	17%	100%	

(This is original table by authors)

Table3 Recognition of the wall greening with areas(エリア別壁面緑化認知度)

	年齢層	Q1/壁面緑化を知っている		Q2/街の中に壁面緑化を必要だと思う			Q3/壁面緑化を見たことがある		合計
		はい	いいえ	はい	いいえ	どちらでもない	はい	いいえ	
新橋エリア	20代以下	13%	11%	20%	-	4%	20%	4%	24%
	30~40代	21%	12%	29%	3%	1%	30%	3%	33%
	50~60代	24%	9%	27%	4%	2%	27%	6%	33%
	70代以上	7%	3%	8%	-	2%	6%	4%	10%
	合計	65%	35%	84%	7%	9%	83%	17%	100%
港南エリア	20代以下	25%	11%	31%	1%	4%	32%	4%	36%
	30~40代	17%	17%	29%	1%	4%	27%	7%	34%
	50~60代	21%	6%	22%	1%	4%	20%	7%	27%
	70代以上	2%	1%	3%	-	-	2%	1%	3%
	合計	65%	35%	85%	3%	12%	81%	19%	100%
青山エリア	20代以下	24%	21%	41%	1%	3%	37%	9%	45%
	30~40代	24%	15%	31%	2%	7%	34%	6%	39%
	50~60代	8%	7%	12%	-	3%	13%	2%	14%
	70代以上	1%	-	1%	-	-	1%	-	1%
	合計	57%	43%	85%	3%	13%	84%	16%	100%

(This is original table by authors)

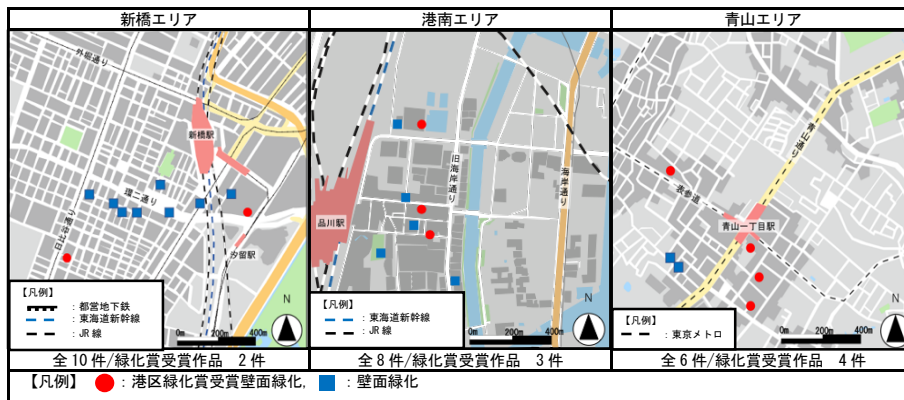


Figure1 Location of the wall greening (壁面緑化配置図)

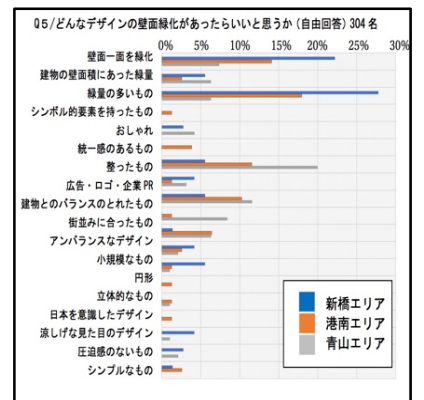


Figure2 Design demand (デザイン要望)